

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2024年6月20日

福井県知事 殿

提出者

住所 福井県大飯郡高浜町田ノ浦

氏名 関電プラント株式会社 高浜事業所
所 長 中野 守人

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0770-76-1301

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称 関電プラント株式会社 高浜事業所

事業場の所在地 福井県大飯郡高浜町田ノ浦

計画期間 2024年4月1日～2025年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類 D06 (総合工事業)

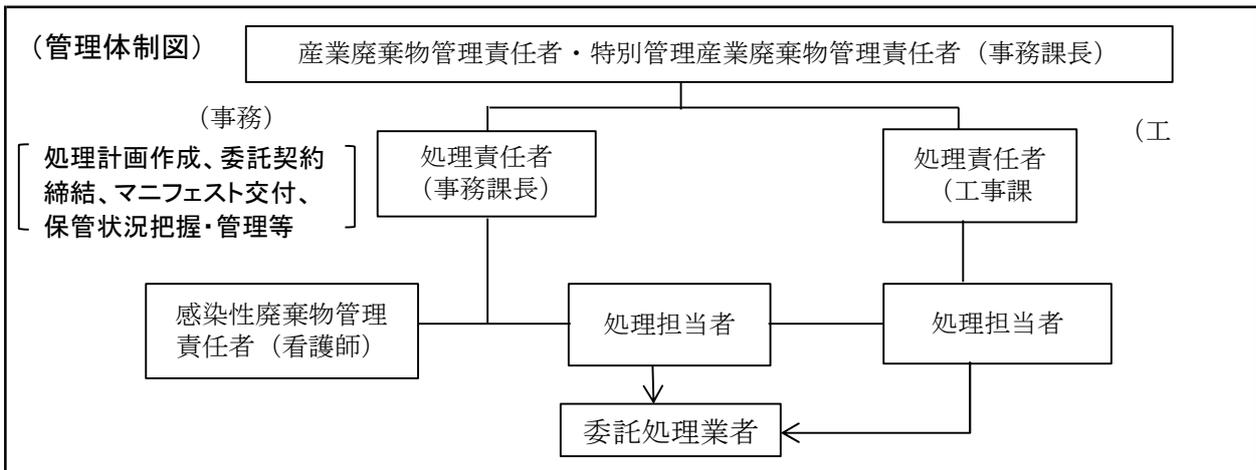
②事業の規模 17,682,000千円 元請完成工事高 (前年度実績)

③従業員数 228名 (2024年6月1日現在)

④産業廃棄物の一連の処理の工程 別紙1のとおり

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (2023年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2のとおり	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2のとおり	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 種類毎の専用コンテナ等を設置し、他の廃棄物が混入しないよう施錠保管している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 引き続き、上記のとおり実施する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	———	———
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	——— t	——— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	———	———
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	——— t	——— t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	———	———
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	——— t	——— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	——— t	——— t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	———	———
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	——— t	——— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	——— t	——— t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(これまでに実施した取組) _____		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	_____	_____
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	_____ t	_____ t
	(今後実施する予定の取組) _____		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t
(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

<p>④産業廃棄物の一連の処理の工程</p>	<ul style="list-style-type: none">・汚泥 処理業者(焼却・脱水・混錬)へ委託(再生可能なものについては再資源化している) ・廃油 処理業者(焼却)へ委託(焼却物は再資源化) ・廃酸 処理業者(中和)へ委託(中和水は再資源化) ・廃アルカリ 処理業者(中和・焼却)へ委託(中和水・焼却物は再資源化) ・廃プラスチック類 処理業者(焼却・破碎)へ委託(焼却・破壊物は再資源化) ・金属くず 処理業者(破碎)へ委託(破碎物は再資源化) ・混合物 処理業者(選別・破碎)へ委託(選別・破碎物は再資源化) ・ガラス・陶磁器くず 処理業者(選別・破碎)へ委託(選別・破碎物は再資源化または埋立) ・がれき類 処理業者(破碎・選別)へ委託(破碎・選別後は再資源化) ・木くず 処理業者(破碎・選別)へ委託(破碎・選別後は再資源化) ・感染性廃棄物 処理業者(焼却)へ委託(焼却物は再資源化) ・廃石綿 処理業者(溶融・埋立)へ委託(溶融物は再資源化、または埋立)
------------------------	--

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項																	
①現状	【前年度(2023年度実績)】																
	産業廃棄物の種類	産業廃棄物										計	特別管理産業廃棄物				計
		汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず	混合物	ガラス・陶磁器くず	がれき類	木くず		廃酸	廃アルカリ	感染性廃棄物	廃石綿	
	排出量(t)	36.74	27.06	0.00	23.14	52.28	70.72	0.00	9.46	1131.93	22.98	1374.31	2.56	2.03	0.00	1.50	6.09
(これまでに実施した取組) 大型工事があったため、「がれき類」の排出量が増大したが、100%リサイクルしている。																	
②計画	【目標】																
	産業廃棄物の種類	産業廃棄物										計	特別管理産業廃棄物				計
		汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず	混合物	ガラス・陶磁器くず	がれき類	木くず		廃酸	廃アルカリ	感染性廃棄物	廃石綿	
	排出量(t)	20.00	10.00	0.00	10.00	40.00	40.00	0.00	5.00	300.00	15.00	440.00	1.0	1.00	0.0	1.00	3.00
(今後実施する予定の取組) 排出量が多かった「がれき類」については、大型工事が終わったことから排出量が抑えられる見込みである。																	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【2023年度実績】																		
産業廃棄物の種類	産業廃棄物											計	特別管理産業廃棄物				計	
	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず	混合物	ガラス・陶磁器くず	がれき類	木くず	廃酸		廃アルカリ	感染性廃棄物	廃石綿			
①現状	全処理委託量(t)	36.74	27.06	0.00	23.14	52.28	70.72	0.00	9.46	1131.93	22.98	1374.31	2.56	2.03	0.00	1.50	6.09	
	優良認定処理業者への処理委託量	36.74	27.06	0.00	23.14	52.28	70.02	0.00	9.46	1131.93	22.98	1373.61	2.56	2.03	0.00	1.50	6.09	
	再生利用業者への処理委託量	36.74	27.06	0.00	23.14	52.28	70.02	0.00	4.31	1131.93	22.98	1368.46	2.56	2.03	0.00	0.00	4.59	
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	処理業者(焼却・破砕)へ委託(焼却後の残さはセメント原料、破壊後は燃料として再資源化)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(これまでに実施した取組) リサイクルの推進を図るとともに、定期的に契約内容及び許可証の期限切れや保管状況の確認を行っている。 必要に応じ、最終処分地(埋立)の視察に行く。																		
【目標】																		
産業廃棄物の種類	産業廃棄物											計	特別管理産業廃棄物				計	
	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず	混合物	ガラス・陶磁器くず	がれき類	木くず	廃酸		廃アルカリ	感染性廃棄物	廃石綿			
②計画	全処理委託量(t)	20.00	10.00	0.00	10.00	40.00	40.00	0.00	5.00	300.00	15.00	440.00	1.00	1.00	0.00	1.00	3.00	
	優良認定処理業者への処理委託量	20.00	10.00	0.00	10.00	40.00	40.00	0.00	5.00	300.00	15.00	440.00	1.00	1.00	0.00	1.00	3.00	
	再生利用業者への処理委託量	20.00	10.00	0.00	10.00	40.00	40.00	0.00	2.50	300.00	15.00	437.50	1.00	1.00	0.00	0.00	2.00	
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(今後実施する予定の取組) 上記取組に加え、毎月発生する産廃処理状況の把握確認を行い適正処理に努める。 現地視察を適時行い適正な処理を確認する。																		